

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和5年2月24日

事業所名:児童発達支援センター歩路(放課後等デイサービス我路)

		チェック項目	はい	どちらとも いえな い	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・バーテーション等を活用し、周りからの刺激を減らす等、環境作りに努めています。 ・広々とした部屋を2か所、また状況に応じて別の部屋も使用し、子どもたちが安心して、集中して過ごせるように配慮しています。	・子ども達の状態に応じて環境設定や個別対応を行っています。また、活動内容によっては、センター周辺や園庭を活用しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・子どもたちの実態に合わせて、個別の支援や丁寧な支援ができるように配置しています。 ・その日の状況に応じて職員配置を見直しや利用者のクラス分けを行い、対応しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・全ての廊下に手すりがある。またエレベーターも設置しています。	・左記の工夫している点に加え、身障者用トイレも設置しています。
業務 改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・次年度のご利用希望に関するアンケートを実施し、ニーズの把握を行い、調整しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				・今回の自己評価、保護者の皆様からの評価につきましては、今年度中にホームページに掲載させていただきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				・保護者等から指摘を受けた際は、早急に対応し、業務改善に努めています。また、第三者委員会へ報告しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・職員会議を通しての学びや外部で開催される専門的な研修等へ積極的に参加しています。また、法人にて「新任向け研修」「中堅職員向け研修」「自主研修」の機械を設け、職員の資質向上に努めています。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・複数の職員でアセスメントを行い、お子さまの変化や成長を個別支援計画に反映させています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				・今後も、チーム会議や日々のミーティングの時間を活用し、職員間で情報共有を図りながら、より子どもたちの実態に合わせた活動プログラムが提供できるよう努めます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				・長期休暇中は午前、午後に分け、活動内容を設定しています。今後も、活動時間や利用状況、お子さまたちの実態に応じた課題を設定し、支援を行います。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				・個々のお子さまの実態に応じて、集団活動・個別活動を組み合わせ、活動設定を行っています。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎日、打ち合わせの時間を確保し、利用するお子さまの確認、職員の役割分担等について確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・定期的に、個別支援計画に基づいた記録を取っています。 ・個別支援計画に沿った支援の記録や、細かな変化等を記録し、状態に合わせた支援に繋がっています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				・ケース担当者、児童発達支援管理責任者を中心に、個別支援作成会議の中でモニタリングやアセスメントを実施し、実態に合わせた支援が行えるよう努めています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・ガイドラインの項目について、個別支援計画書に記載し、対応しています。	
関 係 機 関 と	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・チームで事前に情報共有し、担任やチームを中心に参加しています。	・基本的には担任もしくはチームが出席していますが、参加できない際は事前に相談員に情報提供を行い、利用時の様子を伝えるとともに、会議後の情報共有を行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				・学校や保護者と、日頃から情報共有を行い、安心して利用してもらえるよう努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・現在、医療的ケアが必要な子どもはいませんが、法人内に看護師を配置しています。	・医療的ケアが必要な場合は、家族、医療機関と連携がスムーズにとれるよう、連絡体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・相談支援専門員との連携を図りながら、お子さまの情報を共有しています。また、夢すこやかファイルを活用し、切れ目のない支援に努めています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえな い	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
や 保 護 者 と の 連 携	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・相談支援専門員との連携を図りながら、お子さまの情報を共有しています。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○				・地域の放課後児童クラブを併用しながら利用しているお子さまも多く在籍しています。また、「選択交流活動」を通して、事業所を利用しているお子さまが障害の有無に関わらず、交流できる場を設けています。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・昨年度に引き続き、保護者向けペアレント・プログラムを実施しました。また、今年度は職員育成型も実施しています。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				・個別相談の機会を設け、悩みや相談に関して助言やアドバイス等を行っています。個別相談期間以外でも、随時対応しています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・コロナ感染防止の観点を踏まえ、オンラインで参加できる保護者会を実施しました。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				・苦情の内容および対応等については即時返答を行い、専用の用紙に記録を残し、第三者委員会へ報告しています。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	35 個人情報に十分注意しているか	○				
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・年に1度、秋まつりを実施しています。	・今年度も11月にみかん狩りと乗馬体験ができる「秋まつり」を開催し、たくさんの方々に来所していただきました。
非 常 時 等 の 対 応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・月に1度、避難訓練を実施しています。	・災害時の備蓄品においても、倉庫へ保管し、定期的に見直し、更新しています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				・毎年、全職員を対象に人権侵害防止に関する書類への署名を行い、園内研修に実施するなど、虐待に向けた意識向上の為の取り組みを行っています。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束廃止委員会を設置し、協議しています。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				・医師の診断書を確認し、対応しています。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				・報告書の作成後は、法人内でも起こった事象を共有し、再発防止に努めています。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)